

自主的取組の促進に係る事業の実施状況について

専門委員会報告「揮発性有機化合物（VOC）の排出抑制に係る自主的取組のあり方について」では、自主的取組を支援するための措置として、国及び地方自治体においては、VOCの排出削減等に係るセミナーの開催やウェブサイトでの公報、啓発用パンフレットの作成等により普及啓発を進めるとともに、競争的資金による技術開発支援等の実施を行うことなどが必要であるとされた。

環境省において平成17、18年度に実施したVOC排出抑制の自主的取組の促進に係る事業の実施状況は以下のとおりである。

1. セミナーの開催

- (1) VOC（揮発性有機化合物）排出抑制推進セミナー〔平成17年度 全国7会場〕
- (2) 塗装作業におけるVOC自主的取組推進セミナー〔平成18年度 全国4会場〕

2. 自主的取組推進マニュアル等の作成

- 「印刷産業におけるVOC排出抑制自主的取組推進マニュアル」
- 「すぐにできるVOC対策（塗装で取り組むVOC削減の手引き）」
- 「産業洗浄分野におけるVOC排出抑制自主的取組推進マニュアル」

3. 啓発用パンフレットの作成

- (1) 一般向け啓発用パンフレット
「揮発性有機化合物について（光化学スモッグのない暮らし）」
- (2) 業種別啓発用パンフレット
「はじめようVOC排出抑制対策 ドライクリーニング編」
「はじめようVOC排出抑制対策 産業洗浄編」

4. 普及啓発に係る検討

- (1) 低VOC製品普及啓発問題勉強会の開催
生産、流通、消費それぞれの立場から、VOC対応製品を普及させるうえで課題となる点の抽出を行い、その課題解決に向けた勉強会を開催
- (2) 揮発性有機化合物（VOC）に係る環境配慮製品等の普及啓発に係る調査
消費者がVOCに係る環境配慮製品の選択を容易に行うための指標やマーク等の環境ラベルなど、VOCに係る環境配慮製品の普及啓発に係る検討

5. 技術等の情報提供

(1) VOC処理装置等の開発状況等にかかる調査

VOC処理装置等の開発ニーズ、VOC低排出施設及びVOC処理装置等の開発状況等の調査を行い、開発ニーズに対する開発状況の把握、問題点の抽出等

(2) VOC簡易測定法に係る情報収集

VOCの排出状況の把握を容易かつ安価に行えるよう、測定機の選定を行う際の参考となる一覧表（原理、価格、測定可能成分、測定濃度、精度等）の作成し、環境省HPに掲載

6. 環境技術実証モデル事業の実施

既に適用可能な段階に有り、有用と思われる先進的環境技術でも環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために、地方公共団体、企業、消費者等のエンドユーザーが安心して使用することができず、普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者機関が客観的に実証する事業を試行的に実施。

(1) ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術〔平成17年度（前年度から継続）〕

金属類を脱脂、洗浄する際に利用するジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤を、凝縮法等により適切に処理する技術（装置）など

(2) 中小事業所向け VOC 処理技術〔18年度〕

自主的取組が期待されている中小 VOC 排出事業者向けの汎用的な VOC 処理技術（装置）など

7. VOC脱臭処理技術評価ガイドの作成

中小企業向けVOC脱臭処理装置を一般公募し、第三者機関により性能試験を実施、技術評価した結果をとりまとめて公表〔平成17年度（平成15年度から継続）〕

